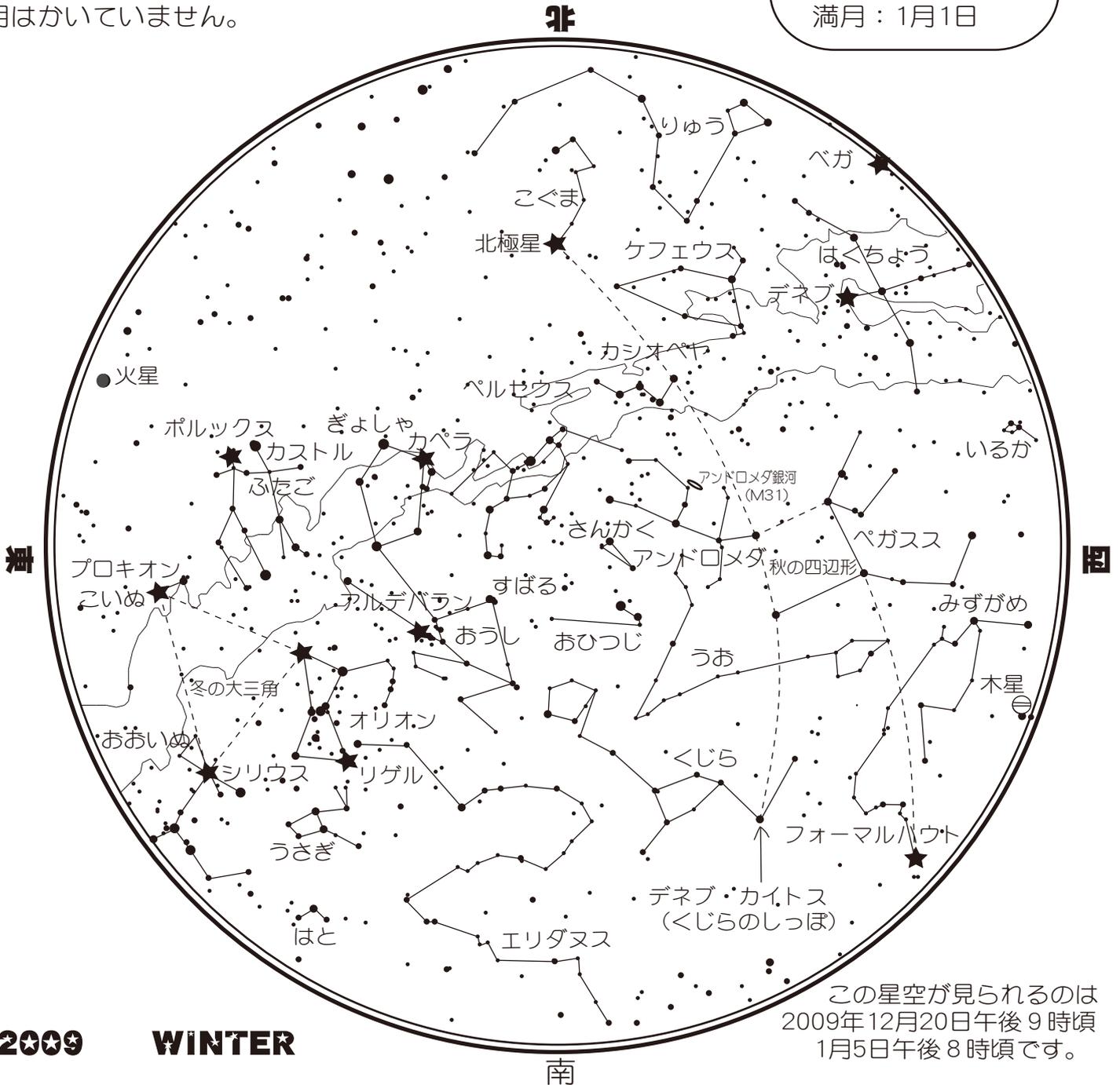


# 姫路で見る12月後半の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。  
★は一等星を表しています。  
月はかいていません。

新月：12月16日  
上弦：12月25日  
満月：1月1日



2009 WINTER

この星空が見られるのは  
2009年12月20日午後9時頃  
1月5日午後8時頃です。

## ★地球のなかまをさがそう

夕暮れの西の空にひときわ明るく見えるのは、太陽系最大の惑星、木星です。少し遅くまで起きていると、東の空に赤く輝く火星を見ることができます。太陽の周りを回る惑星たちは、少しずつ見える場所が変わります。星座の星と間違えないように探してみてください。

東の空には冬の星座の星が輝いています。オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンからなるのは「冬の大三角」です。頭の上にはおうしの赤い目に

当たるアルデバランや、ぎよしゃ座のカペラ、ふたご座の仲良し星、弟ポルックスと兄カストルなどの明るい星をたどることができます。

## ★見えるかな？部分月食

【1月1日 午前4時22分に部分食の最大】

2010年最初の天文イベントは、1月1日の夜明け前に起こる部分月食です。満月が地球の陰に入って丸い月が欠けて見える現象で、今回はほんの少しだけ月が欠けて見えます。

